

市議会だより

はまだ

Vol.32

平成26年(2014年)2月1日発行



第16回 全国小学生クロスカントリリーレーに
「浜田 JAS」が3年連続で出場しました。
〔大阪府吹田市 万博記念公園特設コース 第28位〕
距離9km・6区間 (男子3名・女子3名)

12月定例会 主な記事

可決された主な事業

「合併処理浄化槽設置助成事業」他

一般質問

議会からのお知らせ

4P

5P

12P

12月定例会 あらまし

平成25年12月浜田市議会定例会が12月2日に召集され、12月18日までの17日間の会期で開かれました。

提出された議案は24件、各委員会等での審査の様子は2ページから3ページに掲載しています。

また、議案の質疑には4議案に対し、4名の議員から質疑がありました。詳細につきましては、3ページ下段に掲載しています。

そして、今定例会の個人一般質問には19人が立ちました。

論戦の様子は、5ページより掲載しています。



総務文教委員会は議案6件が付託され審議を行いました。このうち、「消費税法の改正に伴う関係条例の制定」は、対象外として改正を行わなかった考え方について質疑がありました。その理由として①消費税法に規定する不課税であるため、②

消費税引上げの 地方税収入の用途は？

— 総務文教委員会 —

消費税法に規定する非課税範囲のため、③利用料等が小額で端数処理を行った結果、引き上げとならないため、④利用者の利便性を考慮したため、の4点と、他の所管分で、産業振興のためとの説明を受けました。また、消費税の引き上げにより、地方税の関係で今後収入が増え、市民サービスに充てられるのかという質疑があり、当面、消費税部分は社会保障費の関係に充てていくことが原則であるとの答弁がありました。「浜田地区広域行政組合規約の変更の条例」は、介護保険課の場所について質疑があり、移転しないとの答弁がありました。また「浜田市災害派遣等に関する条例」及び「人権擁護委員候補の推薦」の同意案件について審査を行いました。採決の結果、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。なお、執行部から、平成28年度以降の厳しい財政運営見通しの説明がありました。

消費税引上げで 福祉施策の充実を

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会では、消費税の引き上げに伴う浜田市条例にある、使用料や手数料などの改正について審査を行い、可決すべきものに決しました。委員会では、水道事業会計、工業用水道事業会計で、仮に消費税を引き上げない場合、その分は当該会計で負担するのか、

また、一般会計で利用料金等に転嫁しない場合、どこが負担するのかや消費税引き上げに伴う収支差は、今後、子育て支援策などに活用されるのかなどの質問が出されました。これに対し執行部から仮に引き上げない場合、上水道事業で2400万円、工業用水道事業で300万円の負担となる。一方、一般会計で利用料金等に転嫁しない場合、住民税等により肩代わりすることになり、本来、サービス利用時に転嫁すべきものを住民全体に転嫁する不合理が生じるので、子育て支援を中心とする福祉施策の充実に充てる方針であるとの答弁がありました。



▲引上げのない不燃ごみ処理施設

指定管理者の指名に 新たな項目を追加!

— 建設産業委員会 —

産業建設委員会に付託された議案10件について、審査を行いました。「指定管理者の指定」について、執行部からモニタリングによる評価の説明を受けたあと、委員からは、実績があり優秀な法人に指名するのであれば、指定管理期間を従業員の継続的な雇用などを考えて、延ばすべきだとの質疑がありました。執行部からは、今のところ5年が市の基準で最長であるとの答弁がありました。また、委員からは、指定管理者については原則公募という中で、法人

を指名する場合の基準や数値化についての質疑があり、執行部から、指名に関して新たに指名の基準（当該施設を管理するために新たに設立された法人であって、モニタリングの評価が良い）をつくって、その両方を満たして初めて指名するという条件を加え判断するとしている。しかし、この基準の数値化という事にはいたっていないとの答弁もあつたところでです。

その他、「浜田市漁港管理条例の一部を改正する条例」について、「市道路線の廃止と認定」についてなど、付託を受けた議案10件について、採決の結果、全会一致で、可決すべきものと決しました。



▲リフレッシュパークきんたの里

審査方法に 一問一答方式を導入!

— 予算決算委員会 —

予算決算委員会では、12月13日に委員会を開催し、「平成25年度浜田市一般会計補正予算（第6号）」及び「平成25年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」の2件について審査を行いました。審査の方法は、前議会からの申し送りにより、委員ごとの一括質疑、一括答弁方式から、会計ごとの事業番号順に一問一答方式で行いました。これにより、審査対象事業が前後することなく、各委員が1つの事業をより深く掘り下げて審査でき

るようになりました。審査においては、のべ16人から質疑があり、衛生費の合併処理浄化槽設置助成事業について質疑が集中したところです。各委員からの、助成件数の増加理由や、個人設置型と市設置型との受益者負担の差を是正すべきとの問いに対し、執行部は、件数増加は消費税増税前の駆け込み需要だと思われる。負担差は正については、現計画の最終年度の平成27年度末以降に是正する方向で検討していくとの答弁がありました。

採決の結果、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。



▲委員会の様子

— 議案質疑 —

「消費税法の改正に伴う…」 質疑集中

議案99号
問 笹田卓議員
住民票とか、印鑑証明とかの手数料はどのようになるのか。
答 手数料等については非課税取引の関係で、引上げになっていない。
問 西村健議員
保育料の軽減、児童医療費の助成枠の拡大の他に、負担軽減といった視点で検討されているようなことがあればお聞きする。
答 国は、市町村の単独の扶助費、子育て支援を中心とした施策に活用すべきという方針。市は昨年度からそうした浮いた部分は全額、単独の福祉関係、子育て支援を中心としたものに使うという方針を立てている。

方針を立てている。
議案第109号、110号
問 佐々木豊治議員
指名理由は。
答 当該施設を管理することを目的に設立された法人であり、かつモニタリングによる評価が高い場合は、次期指定管理期間にこれまでと同等以上の評価が期待できるとされた場合は、指名できるという項目を基準の中に追加した。他の施設と比べ食事等も高い評価。苦情等もほとんど聞かれない。地元企業として、地域経済の活性化に大きく寄与している。
議案第114号
問 芦谷英夫議員
事務局、執行体制、江津との連携に支障はないか。
答 業務課と現在の総合福祉センターにある総務課を統合して、1名減に対する業務の効率化を図る。連携については事務局長が行き来することや、事務局会議も必要に応じ開催している。浜田市、江津市の中間地点に事務局ができるということからより連携は強化される。

平成25年12月定例会での

- 議長は全ての議案に対し賛否を表明しません（可否同数の場合を除く）
- 委員会の委員長は、所属委員会付託の議案について所属委員会では賛否を表明しません（可否同数の場合を除く）
- 賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」と表記しています
- 本会議、委員会で賛否不要の場合は「斜線」、欠席の場合は「欠」、棄権の場合は「棄」、議長は「議」、各委員会の委員長は、「長」と記載しています

議案番号	議案名	付託委員会	足立豪	岡野克俊	柳楽真智子	串崎利行
			福祉環境	総務文教	福祉環境	産業建設
議案第99号	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律及び社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（総務文教関係）	総務文教委員会	○	○	○	○
議案第100号	浜田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び浜田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	委員会付託省略	○	○	○	○
議案第101号	浜田市災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教委員会	○	○	○	○
議案第102号	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律及び社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（産業建設関係）	産業建設委員会	○	○	○	○
議案第103号	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律及び社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（福祉環境関係）	福祉環境委員会	○	○	○	○
議案第104号	浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	委員会付託省略	○	○	○	○
議案第105号	浜田市漁港管理条例の一部を改正する条例について	産業建設委員会	○	○	○	○
議案第106号	浜田市旭温泉あさひ荘条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○
議案第107号	浜田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○
議案第108号	浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	〃	○	○	○	○
議案第109号	指定管理者の指定について（リフレパークきんたの里）	〃	○	○	○	○
議案第110号	指定管理者の指定について（浜田市緑の里地域振興施設）	〃	○	○	○	○
議案第111号	工事請負契約の締結について（(仮称) 浜田東部統合小学校校屋内運動場建設に伴う建築主体工事）	〃	○	○	○	○
議案第112号	市道路線の廃止について（三隅116号線外）	〃	○	○	○	○
議案第113号	市道路線の認定について（浜田552号線外）	〃	○	○	○	○
議案第114号	浜田地区広域行政組合理約の変更について	総務文教委員会	○	○	○	○
議案第115号	平成25年度浜田市一般会計補正予算（第6号）	予算決算委員会	○	○	○	○
議案第116号	平成25年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○
同意第12号	浜田市副市長（三隅自治区長）の選任について	総務文教委員会	○	○	○	○
同意第13号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	○	○	○	○
同意第14号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	○	○	○	○
同意第15号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	○	○	○	○
発議第10号	議会改革推進特別委員会の設置について	委員会付託省略	○	○	○	○
発議第11号	自治区制度等行財政改革推進特別委員会の設置について	〃	○	○	○	○

個人一般質問 19名の議員が論戦

当面10年としている
自治区制度をどうする



答 来年度中に方針を示す
江角 敏和 議員

質問 自治区制度10年以降のあり方を決めるスケジュールについて問う。

答弁 来年度の上期に各自治区で公聴会等を開き、平成26年度中に方針を出し、平成27年の6月か、9月定例会市議会で提案する。

質問 市長の『所信表明』で、「見直しに当たっては、自治区制度の精神を尊重し」と述べられた。その「自治区制度」とは、当然「浜田那賀方式」の自治区制度と認識しているが、どう考えているか。

答弁 地方自治法による「地域自治区制度」等も対象に入れ、検討していきたい。

質問 検討にあたり、財政や職員配置、自治区の人口動態など、中長期の将来見通しを踏まえ、最善の方針を導き出す視点

が必要ではないか。

答弁 そうした点を踏まえ、多くの皆さんからご意見をいただいたうえで、地域の活性化、元氣な浜田になるような制度を目指し検討していきたい。

その他の質問 ○8月末豪雨災害の検証と対策について

○想定される水道料金の大幅値上げと抑止策について

○放課後児童クラブの受入と児童医療費助成の拡充等について



市内小売商業の

課題解決を問う



野藤 薫 議員

答 皆さんと一緒に頑張って活性化策を考えたい

質問 市内商業者が減少

している。中小企業庁の調査によれば、原因は高齢化による後継者問題、魅力ある店舗や業種が減少、店舗の老朽化、商圏人口の減少等である。このような課題への認識と対策を問う。

答 国の規制緩和によ

り大型商業施設が地方に進出し、大規模駐車場の商業施設に客がシフトし、売上の減少など全国的な状況と認識している。大変難しい問題で、今まで市内商店街のイベントや空き店舗対策等への助成を行っており、今後も地元商店街の皆さんの意見も聞きながら、一緒に頑張って活性化策を考えていきたい。

質問 魚価低迷への認識と対策、また定住対策も絡めた一本釣り漁業等の

振興について問う。

答 水産振興については全力で取り組む。消費地

では「浜田港水揚げの魚は美味しい」と評判だ。魚価対策としては販路拡大を図り、イカや（仮称）浜田の四季のお魚」を選定し宣伝、魚価向上に努める。

地域資源である豊かな海は県外からの海洋レジャーや漁業体験を通じた交流、定住人口の増大が期待される。情報発信しPRしていきたい。



▲銀天街のイベント

浜田を元気にする取組に

市民参加と協働を！



岡本 正友 議員

答 市民の意見を聞き一緒に頑張って浜田を元気に

質問 特産品を、海外に

売り込む地域産業興しの観点からも必要な、LC（小口混載貨物）の拠点港化の進捗状況と、相談窓口の充実等の貿易振興施策について伺う。

答 先進地視察を行ったところであり、今後小口貨物の拠点化の方策と体制を検討する。



▲H20年の浜田商港

質問 水産商業施設として

重要な公設水産物仲買売場を改築し、競合させる事によって集客を図る施設にすべきと考えるが。

答 関係者の意見を聞きながら隣接する施設のあり方も含め、抜本的な対策を検討する。



▲お魚センター



▲公設水産物仲買売場

質問 中心市街地の環境

保全と観光振興から、空き地化防止対策のための空き家のリユース等、利用促進を図る民間団体への支援策について伺う。

答 コーディネイトするNPO等公募の予定はないが、市街地の空き家の有効活用については検討したい。



▲変わる栄町京町商店街

電話健康相談事業に

取組むべきではないか



佐々木豊治 議員

答 他市の実績も確認しながら慎重に検証する

質問 市民からの健康不

安をはじめ、医療介護・育児などの相談に、市から委託された民間事業者が、医師や看護師など専門スタッフにより24時間、年中無休で無料電話対応する「電話健康相談サービス事業」が先進的に取組まれている。

初期の処置方法や治療・検査方法などについてわかりやすくアドバイスが受けられる事業で、救急外来のコンビニ受診抑制や、119番の適正利用にもつながる成果が

でており、医師の負担軽減にもなる事業とされている。また、うつ病や引きこもり、不登校など他人に相談しづらい精神的な悩み等も多く相談されており、県内では益田市をはじめ複数の自治体で取組まれ、地域医療の問

題に寄与しているものとされているが、浜田市での取組を問う。

答 当事業については、地域医療が抱える課題を緩和する一助であると考えながら、浜田市では関係機関の努力もあり、他の事業を優先的に行っている。多額の費用もかかることから他市の実績なども確認しながら慎重に検証していく。

その他の質問

○公共施設統廃合の取組
○学校図書館の活用教育



進まぬ「地区まちづくり推進委員会」の設置



布施 賢司 議員

答 提案されたテーマ型のコミュニティが必要だ

質問 地域力の原点は自助、共助、公助であり無縁社会では人が助けられない。人は支えあえない。住民主体の新しいまちの実現を目指し、話し合いや地域の資源を使って協働の手法で、住みよいまちを作り上げるため、「地区まちづくり推進委員会」の設置を市は公民館単位で進めている。他の自治区とは違い、浜田自治区では設置数が少ないが、現状での取組を問う。

答弁 面積が広く世帯数が多い関係で、公民館単位ではなく小学校区単位での取組として、「三階小学校区」で団体を設立した。各町内会や自治会の組織がつながり、地域活動の発見や解決にむけた活動を一緒に取組むことの大事さを、広報誌を通じて住民に説明している。



▲防災訓練を運動会で実施

質問 提案として行事（盆踊り、運動会、祭り、敬老会）の活性化、人が集まりやすい防災訓練、地域で子どもや高齢者の見守り隊の結成。安全・安心で「まちづくり」を推進してはどうか問う。

答弁 4つの行事の活性化と提案されたテーマ型のコミュニティの二つは必要であると考える。

その他の質問
○豪雨などによる防災対策をさらに強化すべきだ
○第一ダムの治水効果は

市立中央図書館 利用状況と蔵書数は



岡野 克俊 議員

答 利用者は3ヶ月で7万4千人

質問 浜田市は「文化のかおるまち」を標榜しており、図書館は「知の集積地」としてさらなる利用促進が図られるべきと考えるが、世界名著、例えば文豪ゲーテやニーチェ、ハイネが閉架になつていくように、閉架冊数8万冊は比較的多いと思う。また、今後の蔵書を増やす計画について問う。

答弁 図書の選定は図書選定委員及び利用者のご意見に沿って対応したい。蔵書数については全国同規模の公立図書館の平均蔵書数は約16万7千冊であり、文科省が定めた「公立図書館設置及び運営上の望ましい基準」に基づいて算出した必要蔵書数は約29万4千冊であり、この数字に近づけるように今後計画的に整備、充実を図っていき



▲市立中央図書館

質問 市長は「浜田株式会社」をスローガンに掲げているが、条例の定める中央図書館駐車場利用料について、受益者負担の原則に鑑み、財源捻出のため現在無料の駐車場の課金を、今後行う予定があるか問う。

答弁 現在開館したばかりであり、図書館の周知及び促進の点を考慮して当面は駐車場利用料の課金は予定していない。

市長選公約「浜田を元気に」の具体策は？



笹田 卓 議員

答 市民の意見を聞き、具体化したい

質問 市長選公約の水産業活性化支援の、具体的な支援策は？

答弁 10年後、100億円の水揚高達成を目標に魚価向上の取組を含め、様々な施策を実施したい。

質問 子どもを「生み・育てやすい」環境の、具体的な整備とは？

答弁 「浜田に住む若者が増えるまち」実現のため、児童医療費助成制度拡充を含め、市民の声や要望を聴き、子育て世帯へ最も有効な環境整備の充実に取組む。



▲目指せ! 水揚高100億円!



▲元気な高齢者がたくさんいる浜田!

質問 高齢者の「生きがい」活動の推進・支援の、具体的な支援策は？

答弁 スポーツ・趣味の支援を行い、地域社会に貢献し、元気な高齢者がいる浜田を目指す。

質問 子育て世帯が増える浜田に!



▲子育て世帯が増える浜田に!

あいさつ運動の推進で

元気な浜田市を



道下 文男 議員

答 全庁一体で元気なあいさつのまちへ取り組む

質問 あいさつはコミュニケーションの始まりであり、市長の公約である「浜田を元気にする」ために、市長が率先し、全庁あげて「あいさつ運動」に取り組む考えはないか問う。



▲あいさつ運動の推進

答弁 浜田を「元気なあいさつのまち」にすべく、全庁一体で取り組み、大人から子供へ子供から大人へとあいさつの輪を広げていきたい。
質問 大学から市街地への最短の市道は未だに暗い箇所がある。事件が風

「浜田へ来る人」を増やす

具体的戦略を！



西田 清久 議員

答 「広島特別チーム」の設置を検討する

質問 観光や商工業振興における「浜田へ来る人」を増やす仕組みづくりで具体的戦略を問う。
答弁 「お宝探し」による埋もれた地域資源を掘り起こし、観光ルートの開発に取り組む。またスポーツ、文化合宿の誘致を行うとともに、島根県立大学での研究会の開催を働きかける。そして広島をターゲットとして観光部門に限らず、法人・企業向けのチームとして浜田市広島PRセンターと一緒にプロモーションを行うなどの積極的なアプローチができるよう「広島特別チーム」の設置を検討する。

質問 「お魚センター」の抜本的な立て直しに向けた取組について問う。
答弁 公設水産物仲買売場の老朽化とともに早急に見直しを検討する。

職員は日報をつけ、業務に役立てよう

業務に役立てよう



森谷 公昭 議員

答 日報をつける時間で業務に支障をきたす

質問 安心子育ての夜間保育所を作ってほしい。
答弁 ニーズをアンケートで調査する。
質問 生活保護をいきなり医療費まで無料にしないように段階を。
答弁 制度上、現状はセットで無料にせざるを得ない。

質問 職員は業務日報をつけて、能率、計画、職員教育に役立て欲しい。
答弁 記録するのに時間がかかり業務に支障をきたす。
質問 複式簿記会計を導入する用意はあるか。
答弁 当面はない。

質問 公共建造物に発案者の名前をいれ、無駄なものを作るけん制できないか。
答弁 職員が失敗を恐れ決断ができなくなるから難しい。



▲中学校柔道三隅大会も一役

その他の質問
○学校教育について



▲夜間保育所があれば安心

質問 常職ある税金の徴収をしていない教育を。
答弁 デリケートな問題だが、スキル不足の対応があるかもしれない。
質問 佐々田文庫の名前を残してほしい。
答弁 銘板を掲示する。
質問 島根原発稼働の反対する用意があるか。
答弁 浜田市独自で反対の決定は考えていない。
質問 長沢町の山を削って住宅地に。
答弁 金と残土の問題で今は考えられない。

8月の豪雨災害をうけて 今後の防災対策は！



答 市民と共に
防災体制を確立

柳楽真智子 議員

地域包括支援センターの 複数設置を！



答 将来的に複数設置
できるように努力する

足立 豪 議員

災害復旧費は 市の負担は0%か？



答 市は国庫補助残の
1/2負担する

田畑 敬二 議員

質問 8月の豪雨災害時に防災行政無線の放送がなされたが、激しい雨音で屋内・外を問わず聞こえにくいという声が聞かれ、今後の対応を問う。

答弁 個別受信機の設置の設置されていない浜田自治区では補完措置として、フリーダイヤルの自動電話応答サービスを実施し、26件の利用があった。防災防犯メールなどの情報伝達手段の検討と市民への周知をはかる。

質問 避難所が遠いまたは途中の道路が冠水するなど、避難所の見直しが必要ではないか。

答弁 現在実施中の避難所調査の結果を踏まえ検討する。避難所を核とした自主防災組織の設立も検討し、いざという時に備え防災訓練や防災意識の熟成に努める。



▲25年8月災害 美又地区

質問 高齢者や障害により一人で避難することが困難な、要支援者への避難対策を問う。

答弁 普段からの見守り活動など、緊急時に避難支援をしていただける方との交流が大切。すでに要援護者の支援体制を確立されている地域もあり先進事例等も参考に、家族や近隣・地域での支援体制の検討について、市としても関係部署が連携し取組強化に努める。

質問 浜田市の高齢化問題は危機的状況であり、高齢者の方々が元気で安心安全な生活が送れるよう介護サービスの充実を図ることが大変重要である。介護サービスの中心的役割を担う「地域包括支援センター」は、現在、浜田市では本庁の1ヶ所にしかなく、面積の広い浜田市において複数設置することが当然と考えるが増設する考えがあるか問う。

答弁 高齢化率の高い浜田市において「高齢者が安心して暮らせるまちづくり」を推進していくためにも、将来的に複数設置できるように努力する。

質問 障がいのある児童が身近な地域で安心して支援が受けられるよう「児童発達支援事業所」や「放課後等デイサービス」が島根県内で浜田市だけ設置されていない現状について問う。

答弁 残念ながら現在浜田市には設置されていないが、開設に向けて可能な限り支援していく。

その他の質問
○介護予防・日常生活支援総合事業の現在の取組状況について
○地域包括ケアシステム現在の取組と課題について



質問 8月の豪雨災害は、激甚指定になるのか問う。

答弁 農林災害については、局地激甚災害指定の要件である、災害復旧に要する経費が農業所得額の10%以上であり指定されると思う。土木災害は、被害額が未確定ではあるが激甚指定の要件に該当しない。

質問 権限移譲により工場立地法の届け出が市になった。市長は、企業誘致を積極的に推進することであるが、浜田市準則条例の制定の考えはないか。

答弁 工場立地法における緑地面積・環境施設の割合は、企業が、工場を立地する際に、土地の購入等の大きく影響し、当市への進出に制約条件とならないよう早急に条件緩和する。



▲負担が軽減される農地災害

地域の「お宝」で

浜田市を元気に！



平石 誠 議員

答 地域資源の活用で
交流人口の増加を目指す

質問 所信表明で、地域の「お宝」を發掘するにあつたが、その手法、活用策について伺う。

答弁 自治区ごとの情報を収集し、市民の皆さまから幅広く意見を収集する。収集した情報を基に、石見神楽や食・文化・歴史、自然に関する観光ルートの提案やイベント等を実施していきたい。

質問 石見神楽は地域の伝統芸能であり集客用のツールではない。神楽に頼りすぎの観光施策だけでなく、新たなツールの模索も必要ではないか。

答弁 石見神楽の伝統を守りつつ、有効に活用していきたい。新たなツールについては地域の「お宝」を利用したものを考えたい。

質問 グランドオープンした「かなぎウェスタ



▲グランドオープンの様子

ライディングパーク」の状況と今後の支援方針について伺う。

答弁 乗馬やレストランの利用者に加え、養護学校や福祉施設の視察や職場体験等があり、来場者は増加傾向である。今後は乗馬を取り入れた福祉サービス事業の開始等ですらに特色ある施設となるよう、環境整備も含め支援していく。

その他の質問
○リハビリ機能の充実について

認知症高齢者に優しい

まちづくりに向けて



小川 稔宏 議員

答 支援施策の充実と地域における連携に努める

質問 8月名古屋地裁判決等で認知症高齢者の対応を避ける風潮や閉じ込めにつながる懸念がある。家族を地域、行政で支

答弁 認知症になつても尊厳ある生活と人生を維持する。

その他の質問
○サポート医との連携や地域支援推進員の配置、サポーター養成講座を働きかける。認知症カフェは平成26年1月に開設される。軽度認知障害（MCI）判別検査は情報収集を検討する。

質問 医療センターの医師不足改善と医療体制の充実について伺う。
答弁 医師確保に全力で取り組む。広域医療機能分担と県内外との医療連携体制の構築を進め「総合内科」の充実を図る。



▲認知症重度化予防実践塾

質問 人工透析のできる病院の拡充について伺う。

答弁 医療センター腎臓内科常勤医確保に努める。
質問 特定秘密保護法の成立で低空飛行訓練中止の取組に後退はないか。
答弁 後退にはつながらないと思つている。

その他の質問
○公共交通政策について
○住民サービスと職員適正化計画について
○脱原発と三隅火電2号増設について
○君子踏切改良について

一目でわかる名刺の改善と

作製費負担を



飛野 弘一 議員

答 工夫、見直しが必要で、前向きに検討する

質問 「浜田への来訪者や交流人口を増やす」そのためには名刺は最高かつ基本のツールである。職員は名札の着用を厳守している。現在自己負担となつている名刺はややもすると名刺の使いしづりが起こる可能性もある。そこで作製費を公費負担とし、名刺の素材を石州和紙を活用してはどうか。

答弁 名刺の工夫、見直しが必要で、素材において石州和紙は日本に誇れる浜田のお宝である。コスト・量産面で課題はあるが「元気な浜田」のため前向きに検討する。

質問 浜田市の80%以上ともいえる中山間地域の課題は山積で、元気の出る仕組みづくりが急務である。収穫寸前の農作物の鳥獣被害は、農業者にとって本当に元気が失せ

る。鳥獣被害対策事業の大幅改善ができないか。またイノシシ課を新設し積極的に鳥獣被害の先進地として、6次産業化を目指す考えはないか。
答弁 事業費増額に懸命に努める。イノシシ課は難しいが先進地・6次産業化は研究するに値する。



▲猪害（丹波黒豆畑）
収穫寸前1夜で全滅



▲石州和紙の原料（楮）
農閑期収穫

浜田藩開府400年の取組は



答 浜田市の発展につながる事業を考えたい

芦谷 英夫 議員

質問 消防団の迅速な初期対応について、その評価を問う。

答弁 消防団員延べ458名出動、68件の活動地域を熟知した迅速な対応、早期の避難と情報を発出し、人的被害の発生を防止、高く評価している。

質問 出雲大社大遷宮による浜田市への入込客増加や、観光振興など効果、評価について問う。

答弁 観光客は島根県全体で18%の増、東部28%の増、西部は横ばいで効果を十分享受していない。石見神楽などを活用し浜田へ来る人を増やす仕組みを検討したい。

質問 仏教の経典を求めチベットの探検をした能海寛の記念地域研究センター設置の考えを問う。

答弁 能海寛記念地域研究センターの設置は、地



▲25年8月災害 市役所前



答 目標目指して頑張る

牛尾 昭 議員

すごいぞ水産水揚げ 100億円目標は！

質問 リシップの前に各船団維持のための財務改善施策が必要では。

答弁 その通りである。
質問 市長が100億円目標をあげることは、サプライズであり、大いに期待しているが、真意はどうか。

答弁 四季の魚などの提案をし、魚価をあげたい。
質問 目標実現には、魚種交代が必要という専門家の見解もあるがどうか。

答弁 さらに、県外船の誘致や必要な施設整備を図りたい。

質問 公設水産物仲買売場の改築は、現地改築が最善と思うがどうか。

答弁 プロジェクトチームをつくり考えたい。
質問 福井県小浜で、のどくるの人工育成に成功したとあるが取組は。

答弁 今後、関係機関と

相談し、研究したい。

その他の質問 シニア層の起業支援のために市長がトップの久保田スクールを開校してはどうか。

答弁 前向きに考えたい。
質問 市内企業の86%を占める小規模事業者の支援が必要で、今年度で打ち切りは冷たいのでは。

答弁 激変緩和策である。
質問 この利子補給事業は、雇用の継続確保に繋がる大事な事業なので、継続すべきでは。

答弁 再考したい。



▲地元船の活躍が期待される

どうなる来年度の国保料



答 据置は困難、引き上げを検討

西村 健 議員

質問 これまでの国保財政調整基金の活用と、保険料率の考え方および総括について問う。

答弁 合併時、潤沢にあつた基金は、第一義的には保険料の据置のほか、保険料統一や資産割廃止に伴う調整、保健事業に活用してきた。

基金の活用により、保険料率の抑制や肝炎対策などの保健事業を充実させることができた。
質問 来年度の基金活用と保険料率について問う。

答弁 基金残高も減少しており、保険料率を据え置くことは厳しく、保健事業への活用も見直さざるを得ない。

質問 三隅自治区のウィルス性肝炎防止対策事業はどうするのか。

答弁 平成27年度までは従来どおり実施する。

質問 以前、一部負担金（自己負担金の免除実績が極めて少ないので、収入基準について検討すると答弁されているが、その後の検討状況を問う。

答弁 一部負担金免除の収入基準は現在、基準生活費の1.1倍としているが、県内では1.2倍にしている市が複数あり、収入基準の拡大に向け検討したい。

施行時期については、来年4月の施行に間に合わせたい。



議会を傍聴してみませんか？

浜田市議会では、本会議や委員会などすべての会議を原則公開としており、市民の皆さんは、議会での質問や審議の様子を傍聴することができます。（本会議は定員55名、委員会は定員7名）

昨年12月議会では、改選後初めての定例会ということもあり、延べ110名以上の方が本会議の傍聴をされました。

また、傍聴者の皆さんには、今後の議会運営に活かすためアンケートをお願いしていますが、延べ62名の方にご協力いただき、内27名の方は初めての議会傍聴だったそうです。

アンケートでは、「傍聴は参考になった。市民はもっと市議会に関心を持つべき。」「ケーブルテレビで見ているよりよく分かることがあった。」など、傍聴して良かったとのご意見が多くあった反面、「全体的に質疑に元気や覇気がない。」「質問の重複が多い。」などの意見もあり、こうしたアンケートの結果を参考にしながら、更なる議会の活性化に努めていかなければなりません。

市民の皆さん、ぜひ議会を傍聴してみてください。そして、率直な感想をお聞かせください。お待ちしております。

今年も議会報告会の開催を 予定しています！

市議会では、一昨年から、毎年5月のゴールデンウィーク明けに、市内10か所で議会報告会を開催し、平成24年は241名、平成25年は269名の方々に参加いただき、貴重なご意見や要望等をお聞きしてきました。

この議会報告会を、一昨年、昨年に続き、本年も開催する予定にしています。具体的な日程や開催場所については現在検討中ですが、全議員が4～5人で1つの班を編成し、手分けして各地区に出かけて行って、議会の活動について市民の皆さんに報告するとともに、参加された皆さんと意見交換を行うという形になると考えています。これまで2年開催してきた経験から、本年は意見交換の時間を増やすということを考えていますので、ぜひ参加して意見交換をしてみませんか？

なお、開催日程や開催場所につきましては、決まり次第、HPや広報等でお知らせします。



▲昨年の議会報告会の様子

重要案件の意見交換会を開催します

重要案件の意見交換会は、市民の皆さんと議員が下記のテーマについて自由に情報や意見の交換を行い、その結果を議会として政策提言・政策立案へつなげていこうというものです。この意見交換会は、議会側から市民の皆さんに意見交換会の開催をお願いする場合と、市民の皆さんから申し込みによる場合と大きく二つの方法があります。意見交換会を希望される団体は、ぜひお申し込みください。

- ◎**申し込み** 申込書が議会事務局にありますので、必要事項を記載の上、開催希望日の30日前までに申し込みをしてください。
- ◎**対象** 市内に所在する団体（10人以上で構成される団体に限る）
※公共団体やNPO、企業、任意団体などで、実際に活動を行う団体

詳細については、市議会ホームページにも記載しています。

また、お気軽に議会事務局（TEL 25-9800）へお問い合わせください。

申込書は議会事務局に備えているほか、市議会ホームページからもダウンロードできます。

意見交換会でのテーマ

- 自治区制度、まちづくり施策について
- 公共施設のあり方について
- 教育問題について
- 上下水道問題について
- 火葬場装備計画について
- 中山間地対策について
- 浜田商漁港の振興について

※上記以外のテーマは、
議会運営委員会で協議します。
ご相談下さい。



▲浜田女性ネットワークとの意見交換会の様子

知ってナッ得！

「議長」の役割は？

議長は、議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表する（地方自治法第104条）とされています。

議長には、議会の開閉の宣告など本会議の議事進行、閉会中の議員辞職許可、説明員（執行部）の出席要求、会議録の作成、議場の秩序を乱す議員や傍聴人の制止、議会事務局職員の任免など、さまざまな権限が与えられています。また、議会を代表して、多くの会議や式典等にも出席します。

なお、副議長は、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときに、議長の職務を行うとともに、会議や式典に議長代理として出席することもあります。

議会改革推進特別委員会



目的及び調査事項

浜田市議会の議会改革の推進に関する事項について調査及び研究を行う。

○メンバー構成

委員長	江角 敏和	
副委員長	平石 誠	
委員	足立 豪	佐々木豊治
	小川 稔宏	道下 文男
	森谷 公昭	西田 清久
	野藤 薫	西村 健
	飛野 弘二	牛尾 昭
	岡本 正友	

自治区制度等行財政改革推進特別委員会



目的及び調査事項

浜田那賀方式自治区制度の検証を行い、今後のあり方について調査研究を行うとともに、市の行財政改革の推進に関する事項につき調査および研究を行い、行財政改革推進本部に対して必要な意見又は提言を行う。

○メンバー構成

委員長	牛尾 博美	
副委員長	田畑 敬二	
委員	岡野 克俊	布施 賢司
	柳楽真智子	芦谷 英夫
	串崎 利行	澁谷 幹雄
	森谷 公昭	西村 健
	上野 茂	牛尾 昭
	笹田 卓	

あとがき

昨年10月の市議会議員の改選により、24名の議員となりました。今までの、広報広聴調査特別委員会から広報広聴委員会になり、委員構成も代わりましたが、従来の活動を続けていきたいと考えています。議員は、市民の代表として、市民目線で、よりわかりやすく、より読みやすい議会だよりを校正していきます。今年も、昨年に引続いて市内10ヶ所での議会報告会や、市民の皆さんとの重要案件の意見交換会を積極的に取組んでいきます。あくまでも主役は市民であるということをお忘れずに！

記 委員長 田畑敬二

【編集委員】

田畑 敬二	委員長
笹田 卓	副委員長
足立 豪	委員
柳楽真智子	委員
森谷 公昭	委員
野藤 薫	委員
布施 賢司	委員
岡本 正友	委員
澁谷 幹雄	委員
牛尾 昭	委員

〔議長なんでもメール〕

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。（住所・氏名を明記の上、送信ください）
E-mail アドレス：chairman@city.hamada.shimane.jp

★この議会だよりは1部あたり42・88円でできています。